



市事業の進捗状況について (アクションプランの例示)

令和6年10月16日

恵那市リニア都市計画局都市整備課



恵那市公式キャラクター
エーナ

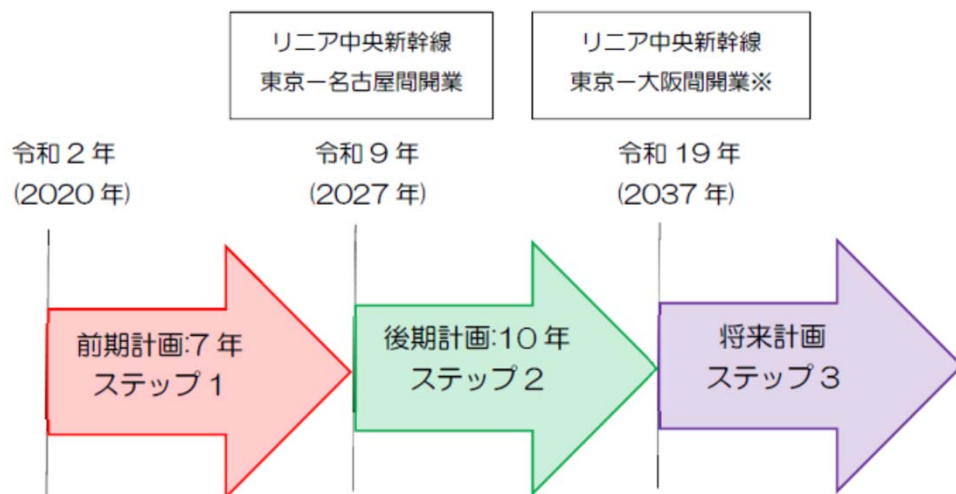


見直しの背景

リニアまちづくり基盤整備計画 令和元年12月策定

3 計画期間

本計画の期間は、前期計画（リニア 東京－名古屋間開業まで7年間）・後期計画（リニア 東京－大阪間開業※まで10年間）・将来計画（リニア 東京－大阪間開業※以降）に分け、整備計画に実施時期を設定し、事業を分類します。



※ JR東海は、東京－大阪間の開業を当初は2045年としていましたが、政府の3兆円の財政投融資により最大8年間前倒しできるとしたため、東京－大阪間の開業を2037年で想定しています。



令和元年12月
恵那市

恵那市リニアまちづくり 基盤整備計画

リニアまちづくり構想の実現のための基盤整備



恵那市公式キャラクター「エーナ」



見直しの背景

1. リニア開業の延期

(2027年→2034年以降に延期となった計画期間見直しの必要性)

- ・ リニア工事と密接に関係する事業は、完了時期や工程を合わせる必要がある。
(交差市道等)
- ・ 開業時期の延期による、各業務の手順、工期、工程の見直し

前期計画
令和2年～8年

後期計画
令和9年～18年

将来計画
令和19年～

2. 事業内容及びスケジュールの具体化

事業を進める中で具体化した個別事業の内容やスケジュールを反映

3. 事業実施時期のアップデート

計画策定後の情勢変化、地域の熟度、関連事業の進捗などの要因を踏まえた
事業実施時期のアップデート

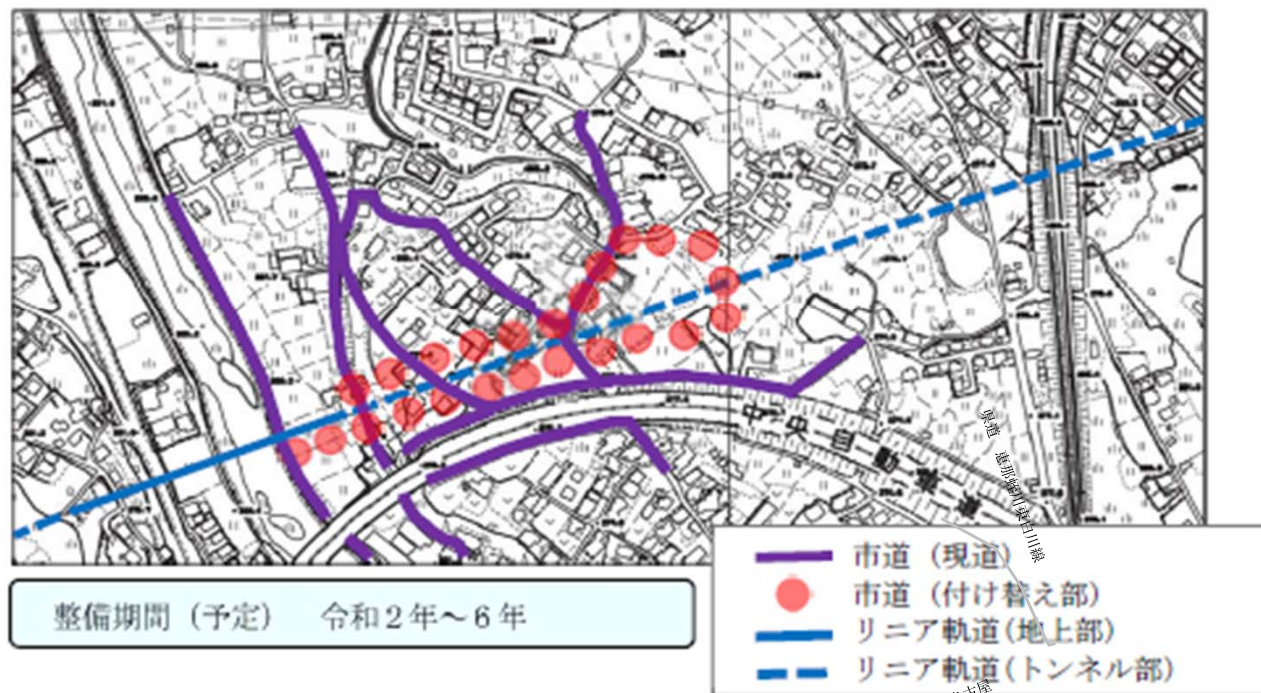


実例 1 リニア開業の延期

リニア軌道機能回復道路及び阿木川架橋

見直し前の計画

第2章 前期計画



計画策定当初

- ・整備期間（予定）
令和2年～令和6年
具体的な整備内容は未定
- ・前提条件
令和9年リニア開業予定

⑨市道 92018 号線（市道野畑野尻線）⑩市道 01131 号線⑪市道 01118 号線
⑫市道 91018 号線（市道大井長島線）⑬市道 01080 号線

野尻野畑地区のリニアの工事では、現在の地盤に改良土を盛った後にトンネルを掘る工法をとり、約 500m にわたり地域が分断され、影響の大きな地域となります。道路では、市道 92018 号線、市道 01118 号線が分断されます。市道 92018 号線については、リニア軌道の上を越す形で道路を付け替えますが、歩行者や自転車での利用者が不便になることもあり、リニア軌道の両脇に側道を設けて影響が最小限になるよう道路を建設します。

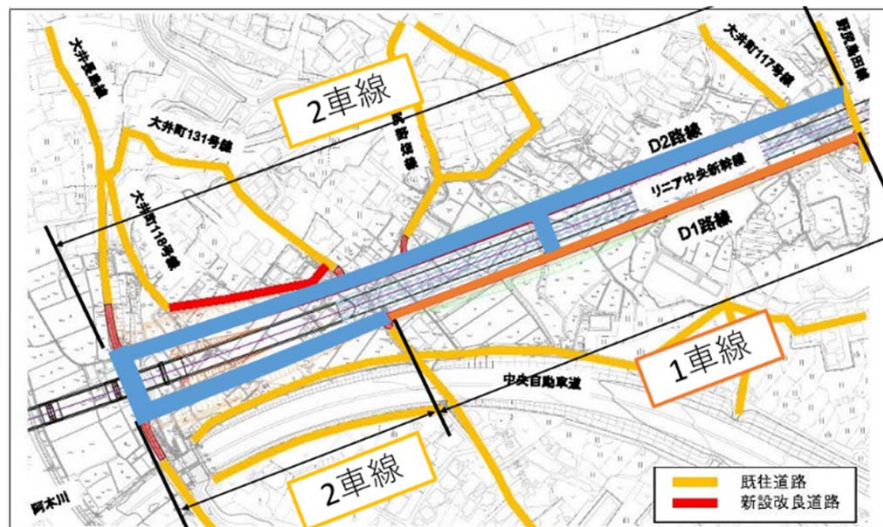
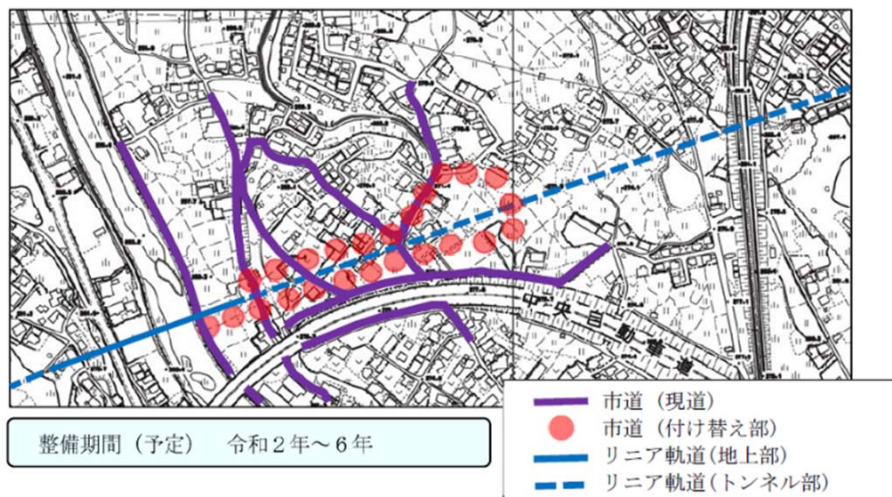


実例1 リニア開業の延期

リニア軌道機能回復道路及び阿木川架橋

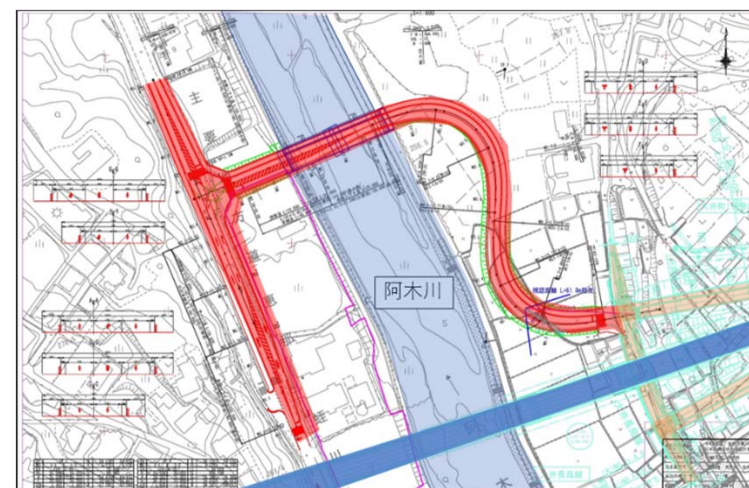
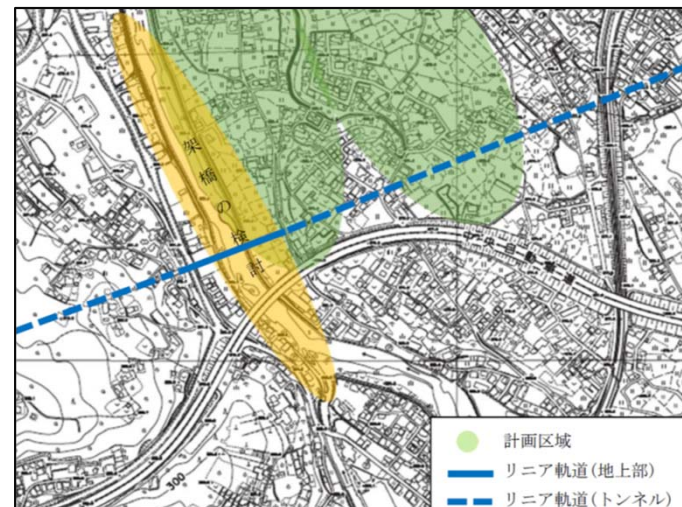
(1) 整備内容の充実

7区機能回復道路事業



(2) 後期事業の前期早期着手

阿木川架橋事業





実例２ 事業内容及びスケジュールの具体化

恵那峡SAスマートIC

恵那峡SAスマートIC

前期計画												後期計画								将来計画			
												恵那峡SASIC 瑞浪恵那道開通				リニア 東京ー名古屋 開業				リニア 東京ー大阪 開業			
施策	地区	事業名称		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17	R 18	R 19	以降	
まちづくり	大井町	スマート I C	計画																				
			実績																				
			AP																				

スマートインターチェンジ※¹の新規事業化箇所

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ ²	連結位置	路線名	事業主体
もりや 守谷SA	茨城県守谷市	常磐自動車道(柏IC～谷和原IC間)	NEXCO東日本 守谷市
つちうら 土浦	茨城県土浦市	常磐自動車道(桜土浦IC～土浦北IC間)	NEXCO東日本 土浦市
えなきょう 恵那峡SA	岐阜県恵那市	中央自動車道西宮線(中津川IC～恵那IC間)	NEXCO中日本 恵那市
おおやまだ 大山田PA	三重県桑名市	近畿自動車道名古屋亀山線(桑名東IC～桑名IC間)	NEXCO中日本 桑名市
やすぎ 安来	島根県安来市	一般国道9号(安来道路)(安来IC～東出雲IC間)	NEXCO西日本 安来市
くろめみなみ 久留米南	福岡県久留米市	九州縦貫自動車道鹿児島線(久留米IC～広川IC間)	NEXCO西日本 久留米市

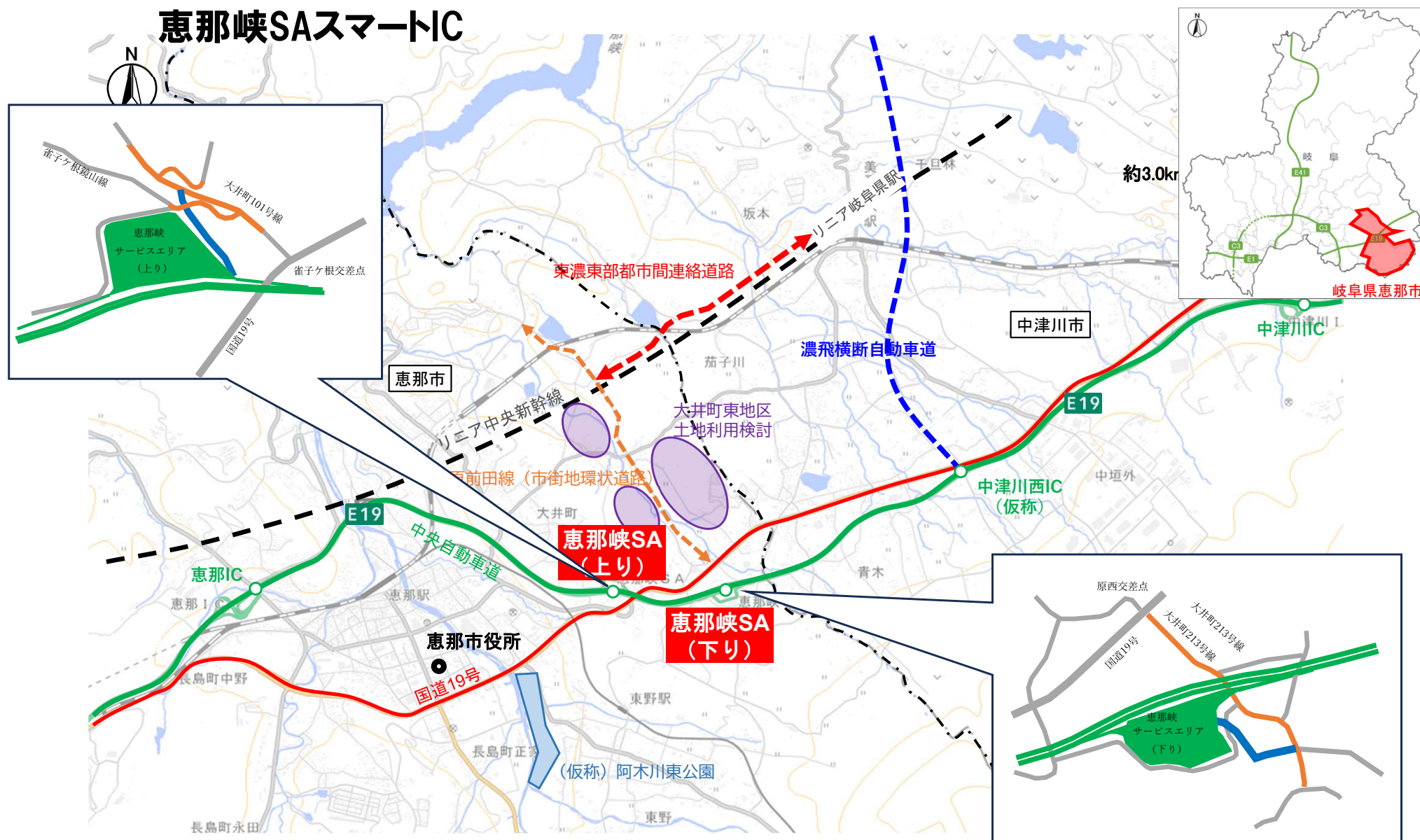
※¹ スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※² スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

令和6年9月6日新規事業化決定



実例2 事業内容及びスケジュールの具体化（周辺ICと位置関係）





実例２ 事業内容及びスケジュールの具体化





実例２ 事業内容及びスケジュールの具体化

